

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
(平成21年度対象)**

**平成22年9月
新潟市教育委員会**

－ 目 次 －

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況について	2
1	教育委員会会議の開催状況	2
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成21年度の主な取組と成果について	5
III	新潟市教育ビジョンの施策評価について	6
1	平成21年度施策評価一覧	6
2	主な施策・事業の評価状況	7
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	14

I はじめに

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が一部改正され、平成20年4月から、各教育委員会においては、毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地教行法第27条の規定に基づき、平成21年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行いました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、「II 教育委員会の活動状況について」では、教育委員会会議の開催状況や、会議以外の教育委員の活動状況について記載しています。

また、「III 新潟市教育ビジョンの施策評価について」は、本市教育委員会の活動の根幹をなす「新潟市教育ビジョン」の、平成21年度の施策の実施状況、進捗状況等について、有識者などで構成される「新潟市教育ビジョン推進委員会」の知見を活用しながら、点検・評価を実施した内容となっています。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

平成 21 年 4 月定例会	教科用図書採択の基本方針，図書館の相互利用の実施状況	他
平成 21 年 5 月定例会	規則の一部改正，平成 21 年度教職員研修の概要	他
平成 21 年 6 月定例会	6 月議会議案，学校適正配置審議会中間報告の概要	他
平成 21 年 7 月定例会	教科用図書の採択	
平成 21 年 8 月定例会	9 月議会議案，教育委員会の点検・評価の議会報告	他
平成 21 年 9 月定例会	学校適正配置審議会の審議状況，新型インフルエンザへの対応	他
平成 21 年 10 月定例会	図書館振興ビジョンの策定	他
平成 21 年 11 月定例会	12 月議会議案，学校適正配置審議会の審議状況	他
平成 21 年 12 月定例会	結・市之瀬再編小学校の校名，高志中等教育学校の入学者選抜	他
平成 22 年 1 月定例会	成人の日のつどい，全国体力・運動能力，運動習慣調査	他
平成 22 年 2 月定例会	2 月議会議案，規則の一部改正，市立学校の校長の人事	他
平成 22 年 2 月臨時会	教職員の人事措置	
平成 22 年 3 月定例会	教育ビジョン後期実施計画の策定，事務局及び機関の長の人事	他

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後，会議速報をホームページに掲載
会議録作成後，速やかに，ホームページに掲載及び市政情報室において公開
- ・傍聴の平均人数 3.38 人

- ・地教行法等に基づき，新潟市では，毎月，教育委員会定例会，及び必要に応じて臨時会を開催しており，平成 21 年度は 13 回の会議（定例会 12 回，臨時会 1 回）を開催しました。（付議事件：29 件，報告案件：57 件）
- ・教育委員会定例会の案件となる前に，事前に協議会などを開催し，案件について十分な検討を行っています。平成 21 年度は，教育ビジョン後期実施計画や各種行政計画の策定などについて，検討を行いました。また，会議の資料については，事前に教育委員に配付され，各教育委員が十分内容を把握した上で定例会に出席しており，毎回活発な意見が交わされています。
- ・また，会議については，原則公開で行われています。（人事案件等非公開の場合あり）

2 教育委員会会議以外の活動状況

○市内視察

- 平成 21 年 9 月 高志中等教育学校（中・高一貫教育，授業参観，懇談会）
平成 21 年 10 月 内野中学校（オンラインワンスクール授業活動ウィーク，懇談会）
平成 22 年 2 月 上所小学校・女池小学校・鳥屋野中学校
（小・中連携教育，授業参観，給食，懇談会）

1 年間に 3 回程度の市内視察を行っており，教育現場の状況を把握するようにしています。また，現地では必ず，意見交換を行うようにしており，情報交換に務めています。

○行政視察

- 平成 21 年 10 月 東京都
・学校問題解決サポートセンター（東京都教職員研修センター）
・足立区立五反野小学校（コミュニティ・スクールについて（学校運営協議会制度））
・足立区立興本扇学園（小・中一貫教育について）

- ・1 年に 1 度，一泊二日で，県外に行政視察を行い，先進の教育行政を参考にして新潟市の教育行政に役立っています。
・平成 21 年度は，東京都の学校問題解決サポートセンターでは，事業概要説明及び施設見学，五反野小学校では，コミュニティ・スクールの事業概要説明及び懇談，興本扇学園では，授業参観及び小・中一貫教育についての懇談を行いました。

○懇談会・意見交換会

- 平成 22 年 2 月 民間人校長との懇談会
（校長の採用から現在までを振り返り，現場での奮闘ぶりや目指す学校像について）
平成 22 年 2 月 市長・副市長との懇談会
（教育ビジョン後期実施計画における重点施策について）
平成 22 年 2 月 区自治協議会委員との懇談会
（地域と学校について，子どもたちの教育課題について）

- ・新潟市の民間人校長である濁川中学校長・豊照小学校長との懇談会の他，市長・副市長とは，教育ビジョン後期実施計画における重点施策について懇談会を行いました。
・21 年度から，教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区（4 区）自治協議会委員との懇談会を行いました。

○指定都市協議会・他団体関係

- 平成 21 年 5 月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会
- 平成 21 年 5 月 関東地区都市教育長協議会理事会，総会並び分科会
- 平成 21 年 5 月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
- 平成 21 年 6 月 第 1 回 指定都市教育委員・教育長協議会
- 平成 21 年 7 月 新潟県市町村教育委員会連合会 理事会・総会・研修会
- 平成 22 年 1 月 第 2 回 指定都市教育委員・教育長協議会

・関東甲信越静市町村教育委員会連合会が主催する，研修会へ教育委員が参加している他，他連合会・協議会等へ積極的に参加し，他政令市や市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。また，21 年度は新潟市が開催地となって，県内の全市町村の教育委員を集めた研修会を行いました。

○マイスター養成塾

- 平成 21 年 5 月 第 1 回認定審査委員会
- 平成 21 年 11 月 修了者研修認定授業
- 平成 21 年 12 月 第 2 回認定審査委員会
- 平成 22 年 1 月 養成塾研修プログラム認定授業
- 平成 22 年 2 月 第 3 回認定審査委員会
- 平成 22 年 3 月 修了式

○学校周年事業への教育委員の出席

- 平成 21 年 4 月 高志中等教育学校入学式
- 平成 21 年 6 月 青山小学校創立 40 周年記念式典
- 平成 21 年 10 月 高志中等教育学校開校記念式典
- 平成 21 年 10 月 根岸小学校校舎改築記念式典
- 平成 21 年 10 月 養護学校創立 30 周年記念式典
- 平成 21 年 11 月 酒屋小学校閉校記念式典
- 平成 21 年 11 月 割野小学校閉校記念式典
- 平成 21 年 11 月 鳥屋野小学校校舎竣工記念事業
- 平成 21 年 11 月 東青山小学校創立 30 周年記念式典
- 平成 21 年 11 月 大野小学校改築・創立 136 周年記念式典

○卒業式への教育委員の出席

- 平成 22 年 3 月 万代高等学校・高志高等学校・明鏡高等学校・養護学校

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，各体育大会，学校長・園長研修会，教育フォーラム 等

3 平成 21 年度の主な取組と成果

平成 21 年度の教育委員会の主な取組と成果として、次のことがあげられます。

① 新潟市教育ビジョン後期実施計画の策定

本市の教育の方向と在り方を示す「新潟市教育ビジョン」の後期実施計画（平成 22～26 年度）を策定した。

後期実施計画の策定にあたっては、前期計画の実施状況や社会情勢を踏まえ、教育ビジョン推進委員会の意見を活かしながら、基礎学力の定着や、家庭・地域の教育力の向上などを重点的な施策に位置付けた。

② 社会教育関連の新たな計画の策定

生涯学習推進基本計画や図書館ビジョンなど、平成 22 年度から開始する社会教育に関する新たな計画を策定した。

- ・新潟市生涯学習推進基本計画

「ともに学び、育ち、創る」～ゆたかな新潟をめざして～

- ・新潟市子ども読書活動推進計画

～豊かな「子どもの読書環境」づくりのために～

- ・新潟市立図書館ビジョン

～本市の目指す 4 つの図書館像～

③ 地域と学校パートナーシップ事業の拡大

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施し、地域教育コーディネーターを前年度の 40 校から 64 校に拡大して配置した。

事業に伴う学校支援ボランティアの活動機会は延べ 11,773 回、40,656 人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の醸成が図られた。

④ 小学校少人数指導等非常勤講師配置事業の開始

40 人学級が複数あるなどの小学校に、8 人の非常勤講師を配置し、学習指導及び生活指導における、よりきめ細かな指導の実践と、教員の子どもと向き合う時間の拡充を図った。

⑤ 市立西特別支援学校の開校準備

2 校目の特別支援学校の開校に向けて、校舎の整備などを実施し、児童生徒の増加による教室不足の解消や、合併による市域拡大に伴う通学時間の短縮など、教育環境の改善を図った。市立西特別支援学校は、平成 22 年 4 月に児童生徒 76 人、教職員 56 人の体制でスタートした。

Ⅲ 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成21年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成21年度施策評価一覧

全施策の平均 3.23 (学びの扉の平均3.03)

評価分布 (評価対象110指標)

・指標を上回って達成 4…52.7% ・指標どおり達成 3…24.5% ・指標を少し下回った 2…16.4% ・指標を大きく下回った 1…5.5% ・未着手 0…0.9%

基本施策 (14施策)		施策 (63施策)		H21施策評価 (前期進捗)	
		網掛…5つの「学びの扉」に該当する施策 ☆…説明に取り上げる施策			
1	確かな学力の向上	1-1	学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進 ☆	4	3.3
		1-2	自ら学び自ら考える教育の推進	3	
		1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	2.5	
		1-4	学習習慣の定着と読書活動の推進 ☆	3.5	
2	豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進	4	3
		2-2	体験活動・ボランティア活動の支援 ☆	3	
		2-3	文化・芸術活動体験の推進	4	
		2-4	いじめ・不登校への対応 ☆	3	
		2-5	非行等への対応	3	
		2-6	体力づくりの推進 ☆	1	
		2-7	健康づくりの推進	4	
		2-8	食育の推進 ☆	3.2	
		2-9	青少年の居場所づくり	3.5	
		2-10	青少年の健全育成の推進	1	
3	世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実	4	3.6
		3-2	国際理解教育の充実	-	
		3-3	コミュニケーション能力の育成	-	
		3-4	情報教育の充実	3.5	
		3-5	環境教育の充実	2.7	
		3-6	海外帰国子女教育・外国人児童生徒への教育の推進	4	
4	自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進	4-1	自立を目指す特別支援教育の推進	4	3.8
		4-2	特別支援教育のサポート体制の推進 ☆	3.3	
		4-3	市立養護学校のセンター的機能の充実	4	
		4-4	ノーマライゼーションの推進	4	
5	校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	校種間連携の推進 ☆	2	3.3
		5-2	学校間連携の推進	4	
		5-3	市立高等学校の改革	3	
		5-4	幼児教育の充実	4	
6	人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育・同和教育の推進	4	4
		6-2	交流・体験活動の推進	4	
7	家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実の支援 ☆	3	3.3
		7-2	子育て支援の充実	3.5	
8	生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり	2.5	3.2
		8-2	学び育つ各世代への支援 ☆	3	
		8-3	地域における生涯学習活動への支援	4	
9	まちづくりに生かす生涯スポーツの推進	9-1	生涯にわたるスポーツ活動の推進 ☆	4	3.8
		9-2	競技力の向上	3.5	
		9-3	みる機会・交流機会の拡大	3.5	
		9-4	住民主体のスポーツを支える組織の構築	4	
10	学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり	10-1	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	3.3	3.3
		10-2	広報広聴活動の推進	4	
		10-3	学校・地域・NPO等の協働の推進	3.3	
		10-4	高等教育機関及び企業等との連携促進	1.3	
		10-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	3	
		10-6	市民の生涯学習施設運営への参画	4	
		10-7	区単位での教育支援体制の整備	4	
11	子どもの安全確保と学校・園の安全管理	11-1	保護者や地域と連携した安全対策の推進 ☆	2.5	2.6
		11-2	安全教育の充実	2	
		11-3	安全な学校施設 ☆	3.3	
12	学校教育・生涯学習環境の整備	12-1	効果的な指導を支援する施設設備の整備	3	3.3
		12-2	コミュニティの拠点としての学校整備	3	
		12-3	学校施設の整備	3	
		12-4	公民館・図書館を核としたネットワークづくり	4	
13	市民に信頼される教育関係職員の育成	13-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	3.8	2.8
		13-2	教職員への支援体制の充実 ☆	2.5	
		13-3	信頼される教職員の採用・登用 ☆	2	
		13-4	教育関係職員の人事管理の適正化	3	
14	ニーズと課題に応える教育行政の推進	14-1	教育情報の収集と発信	3	3.1
		14-2	学校を支援する新たなシステムづくり	3	
		14-3	多様な教育の機会・支援体制の整備	2.5	
		14-4	学校の適正配置	3	
		14-5	効率的な執行体制の整備	3	
		14-6	教育施策に対する評価の充実	4	

2 主な施策・事業の評価状況

「学びの扉」に該当する施策に加え、そのほかに重点的な取組を進めてきた施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1-（1） 学ぶ目的意識をもち、 将来の生き方を考える教育の推進

主な事業 ・キャリア教育推進事業
・市立高校生の進学等支援事業

H21施策評価
前期進捗

4.0

●施策の目標

指標 1	キャリア教育の全体計画を作り、取り組んでいる学校数(校)				H21評価	
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	18			137	4	
進捗状況		151	160	170		
指標 2	市立高校(万代高校)1年次の大学、短大、など進学希望に対する卒業時の達成率(%)				H21評価	
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	65.0				74.0	4
進捗状況		78.8	79.2	75.4	80.5	
指標 3	就職希望者の就職達成率(%)				H21評価	
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	70.0				80.0	4
進捗状況		89.4	84.9	77.6	83.8	

キャリア教育の重要性が周知徹底され、全ての指標で目標値を上回った。

・キャリア教育の全体計画を作り、取り組んでいる学校が170校にのぼったほか、「進学希望に対する卒業時の達成率」「就職希望者の就職達成率」ともにH21の目標値を上回った。小学校36校の教諭を対象にキャリア教育コーディネーター養成講座(2回)を実施し、キャリア教育に関する理解を図った。

1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業 ・学力実態調査
・学生ボランティア派遣事業
・理科・数学学力向上プロジェクト

H21施策評価
前期進捗

2.5

●施策の目標

指標 1-i	授業がわかると感じる子どもの割合(%) (6年国語)				H21評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	90.0			90.0	4
進捗状況		86.0	91.0	92.0	
指標 1-ii	授業がわかると感じる子どもの割合(%) (中3数学)				H21評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	63.0			80.0	2
進捗状況		70.0	71.0	70.0	
指標 2-i	学力偏差値の向上 (中2国語)				H21評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	52.4			53.0	2
進捗状況		52.8	52.9	52.7	
指標 2-ii	学力偏差値の向上 (中2数学)				H21評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	49.6			51.5	2
進捗状況		50.4	49.5	49.3	

指標2「学力偏差値の向上」は、中学2年の国語、数学ともに目標値を下回った。

・特に中学校・数学で基礎・基本が十分に定着していないという実態が明らかになった。H22より、算数・数学の単元評価問題を作成・配信し、各学校での活用を図ることで、児童生徒へのきめ細かな指導を行う。

・新潟・青陵両大学の学生144名が市内小中学校64校で学習支援ボランティアにあたり、指導補助、個別指導、配慮を必要とする児童生徒への対応に取り組んだ。

1-（4） 学習習慣の定着と読書活動の推進

主な事業 ・学習習慣定着事業
・読書活動推進事業
・学校図書館支援センター設置事業

H21施策評価
前期進捗

3.5

●施策の目標

指標 1	家庭学習を2時間以上する中学3年生の割合(%)				H21評価	
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標		30.0 (11月調査)			33.0	4
進捗状況			40.3	43.3	40.6	
指標 2	家庭学習を1時間以上する小学6年生の割合(%)				H21評価	
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	59.3 (4月調査)	48.0 (4月調査)			60.5	4
進捗状況			71.5 (11月調査)	76.9	81.5	
指標 3	児童が1年間に読む本の冊数(小5・6年)(冊)				H21評価	
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	30.0 (4月調査)	31.2 (4月調査)			34.0	4
進捗状況			33.6	38.4 (11月調査)	37.6	
指標 4	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)				H21評価	
		H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標		19,500			23,000	2
進捗状況			15,200	17,300	17,100	

家庭学習時間と読書量が目標値を上回ったが、前年度と比べると数値が下がった指標もある。

・啓発パンフレット「家庭学習のススメ」の活用を図り、各学校での家庭学習への取組が充実してきている。

・H21に策定した「新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校への貸出図書搬送事業を実施するほか、H23実施予定のブックスタート事業の準備を進める。

・西川図書館に引き続き、豊栄図書館に学校図書館支援センターを設置し、区内の学校図書館の実情把握、学校司書への研修及び業務マニュアルの検討、地域開放等の取組を進めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 体験活動・ボランティア活動の支援

- 主な事業 ・ボランティア体験啓発事業
 ・自然体験学習推進事業
 ・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業

H21施策評価
前期進捗

3.0

●施策の目標

指標 1	自然体験学習実施学級数(学級)					H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21		前期進捗
指標目標	210	210	220	220		4
進捗状況		228	219	226		
指標 2	ジュニアリーダー登録数(人)					H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21		前期進捗
指標目標	10	20	50	50		2
進捗状況		12	31	35		

野外体験活動やものづくりなどの生活体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図った。

・自然体験学習の実実施学級数は指標を上回って達成したが、ジュニアリーダーは徐々に増えているものの、登録に至らない子どももあり、目標値には達しなかった。

・今後も、区や地区と連携しながら、学校が休みの土日や長期休みに、ものづくりなどの生活体験事業を実施する。

2-(4) いじめ・不登校への対応

- 主な事業 ・教育相談ネットワーク事業
 ・カウンセラー等活用事業
 ・不登校未然防止プロジェクト

H21施策評価
前期進捗

3.0

●施策の目標

指標 1	いじめ発生人数の減少(人)					H21評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	118	312	減少			2
進捗状況			574	410	同等見込	
指標 2	30日以上欠席した児童生徒の数(人)					H21評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	787	784	減少			4
進捗状況			819	848	747	

いじめ発生人数は同等見込であり、30日以上欠席した児童生徒数は減少した。

・いじめの発生人数は、前年度と比べると減少しているが、H18の現状値と比較すると同等見込である。

※ 「いじめの発生人数」は、H18より「いじめの認知件数」に修正された。H21の数値は文科省からの公表が行われていないため未確定値である。

2-(6) 体力づくりの推進

- 主な事業 ・「パワフル！新・にいがたっ子」推進事業
 ・体力低下・運動嫌い防止教育の推進
 ・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業

H21施策評価
前期進捗

1.0

●施策の目標

指標 1-i	小学校 体力テスト向上率(%) (体力テスト各項目で前年度平均を上回った項目の割合)					H21評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	57.0	70.0			70.0	1
進捗状況		77.1	89.6	57.3	59.4	
指標 1-ii	中学校 体力テスト向上率(%) (体力テスト各項目で前年度平均を上回った項目の割合)					H21評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	72.0	70.0			70.0	1
進捗状況		100.0	85.2	61.1	55.6	

小・中学校ともに目標値を下回ったが、児童生徒の体力は高い水準で推移している。

・体力テストで全国平均を上回った項目が多くあり、各学校が体力の向上・改善に重点的に取り組んできた成果が表れている。

※ 設定した指標目標が「前年度平均を上回った項目の割合」としているため、高水準を維持しても評価に反映されない。H22以降は、「全国平均値を上回った項目の割合」を指標とする。

【参考】 全国平均を上回った項目数の割合
 H21 小学校 78.1% (75/96項目)
 中学校 59.3% (32/54項目)

2-(8) 食育の推進

主な事業 ・「食に関する指導」推進事業
 ・学校と家庭との連携・協力事業 ・学校給食の充実事業
 ・中学校スクールランチ推進事業 ・家庭教育振興事業

H21施策評価 前期進捗
3.2

●施策の目標

指標	H21評価				
指標 1	児童生徒の朝食欠食率(%) (朝食を全く・ほとんど食べない割合)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	4.2	3.5	3.0	2.0	1
進捗状況		3.0	3.9	3.4	
指標 2	給食の残食量の減少(%)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	7.0	6.0	5.0	5.0	4
進捗状況		6.2	5.5	4.0	
指標 3	地場農林水産物の使用拡大(食材数ベース)(%)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	10.5	11.0	11.5	12.0	4
進捗状況		11.3	14.5	15.4	
指標 4	肥満傾向の児童生徒の割合(%)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	9.3			9.0	4
進捗状況		8.7	8.3	7.4	
指標 5	米飯給食普及率の向上(週当たりの米飯給食回数)(回)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	3.57	4.00	5.00	5.00	3
進捗状況		4.00	5.00	5.00	
指標 6	完全米飯給食移行校数(校)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	0	31	156	3
進捗状況		0	80	155	

児童生徒の朝食欠食率は目標値に達しなかったが、給食の残食量が減少したほか、地場産食材の使用や米飯給食への移行が進んだ。

・民間の指導者15名を登録し、スクールランチ校8校を対象に派遣指導を行うことにより、児童生徒の食事や栄養に対する意識を高めた。

・大学生と中学生が協働で実践する「食育ピア・エデュケーション」は、中学校2校で取り組み生徒への食育意識の啓発を図ったが、協力大学の拡大には及ばなかった。

・H21より全市域で完全米飯給食を実施し、学校給食におけるご飯を中心とした日本型の食事を推進した。また、「学校給食で地産地消を進める協議会」を開催し、学校給食における地産地消の意義を共有することができた。

4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進

4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進

主な事業 ・特別支援教育サポートネットワーク事業
 ・特別支援教育コーディネーター養成研修
 ・特別支援教育ボランティアシステム

H21施策評価 前期進捗
3.3

●施策の目標

指標	H21評価				
指標 1	特別支援教育に関する相談件数(件)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	100			150	4
進捗状況		189	357	708	
指標 2	特別支援教育コーディネーター研修修了者数(人)※				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0			150	2
進捗状況		(172)	60	108	
指標 3	特別支援教育ボランティア登録者数(人)				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	50		100	4
進捗状況		34	82	127	

「特別支援教育に関する相談件数」や「ボランティア登録数」が大幅に伸びた。

・特別支援教育コーディネーター研修を10回、介助員研修を2回実施し、学校を支援した。

・特別支援教育ボランティアの登録者127人の内97人が学校・園で活動した。(前年度の1.55倍)

※指標2について
 H19の()は受講者数。3年以上で累計8講座以上の受講により修了するシステムで、H20に初めて修了者60人が出た。

・教育関係者、関係機関、一般市民を対象に、特別支援教育にかかわる理解促進講座を開催した。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-（1）校種間連携の推進

主な事業 ・中学校・高等学校教員交流
 ・一貫教育・一貫校の推進
 ・幼・小・中連携事業

H21施策評価 前期進捗
2.0

●施策の目標

指標 1	中学校・高等学校教員交流人数(人)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	2			4	2
進捗状況		1	2	1	
指標 2	小中一貫校の整備着手				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標				着手	0
進捗状況				未着手	
指標 3	中高一貫校の開設				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	検討委員会により提言をまとめる	基本計画策定	開校準備	中高一貫校開校	3
進捗状況	検討委員会により提言をまとめた	基本計画策定	開校準備	中高一貫校開校	
指標 4	幼小中一貫教育推進モデル中学校区数(校区)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	2	2	5	8	3
進捗状況		2	5	8	

各中学校区において幼小中一貫教育を推進した。

・中学校・高等学校教員交流では、学校種間の異動により経験豊かな教員の育成を図っているが、人数としては目標値に達しなかった。

・57中学校区において、学力・体力実態や、いじめ、不登校、問題行動の実態等のデータを共有し、共通課題を設定する中で各中学校区での課題解決に向けた取組を進めてきた。

・小中連携教育実践研究事業のモデル3中学校区で、9年間の一貫指導カリキュラム作成に向けた研究に取り組んだ。

7 家庭教育の充実と子育て支援

7-（1）家庭教育充実の支援

主な事業 ・家庭教育振興事業

H21施策評価 前期進捗
3.0

●施策の目標

指標 1	子育て学習出前事業実施か所数(学校・企業・地域)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	80	95		115	2
進捗状況		101	110	110	
指標 2	各種家庭教育学級実施事業館数(か所)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	36	42	44	46	4
進捗状況		46	49	55	

子育て学習出前事業は目標値を下回ったが、各種家庭教育学級は目標値を上回って実施した。

・「家庭教育の大切さ」をテーマに、子育て学習出前講座を小学校103校、中学校7校で実施した。

・乳児期から思春期までの家庭教育学級や父親学級のほか、出産前の親を対象としたプレママ学級を4館で実施することにより、家庭教育の充実を図った。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-（2） 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・ビジネス支援講座 ・にいがた市民大学開設事業
 ・アクティブシニア支援事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備
 ・子どもが読書に親しむ機会の充実 ・ビジネス情報提供事業

H21施策評価 前期進捗
3.0

●施策の目標

指標 1	にいがた市民大学受講者数(人)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	400	550	→	550	2
進捗状況		567	508	506	
指標 2	児童書の貸出数(冊)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	900,000		→	1,005,000	4
進捗状況		983,000	1,044,000	1,068,000	
指標 3	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	19,500		→	23,000	2
進捗状況		15,200	17,300	17,100	
指標 4	ビジネス支援調査相談件数(件)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0		→	300	4
進捗状況		54	210	310	

「児童書の貸出数」と「ビジネス支援調査相談件数」が増加し、目標値を上回った。

・「市民大学の受講者数」は、H19の8講座から1講座減になったことなどから目標値に達しなかった。

・「児童書の貸出数」と「ビジネス支援調査相談件数」は、目標値を上回った。H19より開始したビジネス情報提供事業では、引き続き起業・経営相談会を開催し、ビジネス支援を進める。

9 まちづくりに生かす生涯スポーツの推進

9-（1） 生涯にわたるスポーツ活動の推進

主な事業 ・新潟マラソン大会の開催 ・スポーツ普及推進事業
 ・スポーツ指導者育成事業 ・体育施設整備事業
 ・中地区体育施設整備事業
 ・「週1回スポーツに親しむ運動」推進事業
 ・「(仮称)スポーツ振興会マネージャー」育成事業

H21施策評価 前期進捗
4.0

●施策の目標

指標 1	週1回以上スポーツをする人の割合(%)				H21評価	
	H15(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	15.9	15.9		→	30.0	4
進捗状況			19.5	36.1	37.5	

「週1回以上スポーツをする人の割合」が伸び、目標値を大きく上回った。

・新潟マラソンは、期日を11月に変更し、規模を縮小して実施したにもかかわらず、過去最高の申込者数となった。今後も、地域のスポーツ振興会の中心となるマネージャーの育成、資質向上に取り組む。

10 学・社・民の融合による人づくり,地域づくり,学校づくり

10-（1） 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・学校評議員制度の推進
 ・地域と学校パートナーシップ事業
 ・ふれあいスクール事業 ・学校開放事業

H21施策評価 前期進捗
3.3

●施策の目標

指標 1	地域教育コーディネーターの配置校数(校)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	8	11	19	4
進捗状況		8	40	64	
指標 2	ふれあいスクール事業実施校数(校)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	22		→	40	4
進捗状況		34	39	43	
指標 3	ふれあいスクール事業実施校数(公民館出前型)(校)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	3	8	16	24	2
進捗状況		4	8	17	

地域教育コーディネーターを64校に拡大配置した。

・「地域と学校パートナーシップ事業」は、新規24校を加え64校に拡大し、開かれた学校、地域と共に歩む学校づくりを推進した。

・「ふれあいスクール事業」は、新たに4校を開設し、43校で実施した。引き続き地域の財産である学校を中心に、地域内の様々な活動や人をつなぐことにより、地域で子どもを育てる教育力の醸成を図る。

11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理

11- (1) 保護者や地域と連携した安全対策の推進

主な事業 ・青少年育成団体の活動支援
 ・セーフティ・スタッフ事業
 ・不審者メール配信事業

H21施策評価 前期進捗
2.5

●施策の目標

指標 1	セーフティ・スタッフ登録者数(人)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	4,500			6,000	1
進捗状況		4,700	4,786	4,837	
指標 2	不審者メール配信登録者数(人)				H21評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	10,800			12,000	4
進捗状況		11,834	19,263	24,237	

セーフティ・スタッフの登録者数は年々増加しているが、目標値には至らなかった。

・保護者や地域との連携や、警察など関係機関との連携の強化、警察OBによる学校への巡回と指導を行うスクールガードリーダー事業の導入により、児童生徒の登下校の安全を確保することができ、地域の子どもは地域で守る気風を高めた。

11- (3) 安全な学校施設

主な事業 ・指定避難所(屋内体育館)耐震補強事業
 ・非常通報装置設置事業 ・市立学校AED設置事業
 ・安全で快適な学校整備事業

H21施策評価 前期進捗
3.3

●施策の目標

指標 1	耐震診断実施率(%)				H21評価	
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	20.7	100.0	—	—	完了	
進捗状況		100.0	—	—		
指標 2	屋内体育館の耐震補強工事達成率(%)				H21評価	
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	5.6	19.7	33.8	47.9	4	
進捗状況		19.7	46.5	73.2		
指標 3	AED 設置校数(校)				H21評価	
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	4	62	119	176	3	
進捗状況		62	119	177		
指標 4	大規模改造計画達成率(%)				H21評価	
	H17	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標		11.1	19.9	27.9	42.2	3
進捗状況			19.9	27.3	44.3	

全事業とも予定通り進捗し、指標どおり達成した。

・屋内体育館は18校で耐震補強工事を完了し、校舎は14校で耐震補強工事を行うとともに耐震2次診断を45校で実施した。屋内体育館及び校舎の耐震補強工事を引き続き実施するとともに、優先度、緊急度の高いところから耐震補強設計を行う。

・自動体外式除細動器(AED)は、H21に新たに58校に設置し、市内の全学校に配置完了した。

13 市民に信頼される教育関係職員の育成

13-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・マイスター養成塾等スキルアップ研修の推進
・学社民融合研修の推進

H21施策評価 前期進捗
3.8

●施策の目標

指標 1	研修受講者の満足度(%) (充実した研修だったと答えた受講者の割合)	H21評価			
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	65.0	70.0	75.0	80.0	4
進捗状況		71.0	80.0	82.0	
指標 2	マイスター認定人数(累積)(人)	H21評価			
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	10	15	20	4
進捗状況		6	13	26	
指標 3-i	全教師が研究授業をする学校の割合(%) 小学校	H21評価			
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	88.0			100.0	3
進捗状況		100.0	100.0	100.0	
指標 3-ii	全教師が研究授業をする学校の割合(%) 中学校	H21評価			
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	57.0			70.0	4
進捗状況		81.0	84.0	88.0	

全ての指標で目標値に達し、教職員の研修体制がより充実したものになっている。

・マイスター養成塾の修了者は3年間で47名、そのうち認定者が26名となった。修了者全員が高い授業力を保有する実績をあげ、市の教員全体の教師力向上に大きく寄与している。

・「全教師が研究授業をする学校の割合」は、小・中学校ともに目標値に達した。

13-2 教職員への支援体制の充実

主な事業 ・指導力不足教職員等の研修
・教職員ヘルスケアシステム

H21施策評価 前期進捗
2.5

●施策の目標

指標 1	学習指導などに支援を要する教職員の減少(人)	H21評価				
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	41	減少			3	
進捗状況		37	28	25		
指標 2	教職員の病気休暇・休職者の減少(人)	H21評価				
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	91	95	減少		2	
進捗状況			110	112		110

支援を要する教職員は年々減少し、指標どおり達成した。

・支援を要する教職員の教師力等の向上のために、予防的研修の充実を図った。学校・園への訪問回数を増やし、校長との連携を図ることで、共通理解のもと研修を実施した。

・病気休暇・休職者の減少に向けて、メンタルヘルス研修、メールによる相談事業や面接相談事業を実施するとともに、休職者の円滑な復職のための職場復帰支援プログラムを実施した。

13-3 信頼される教職員の採用・登用

主な事業 ・教員採用選考検査
・管理職選考検査

H21施策評価 前期進捗
2.0

●施策の目標

指標 1	女性管理職(教頭)登用率(%) ※H18(現状):市立学校・園の女性管理職比率	H21評価			
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	(10.7)	—	35.0		2
進捗状況		27.3	24.0	24.0	

女性管理職(教頭)の登用率は、24%に留まった。

・女性管理職の登用率は指標を下回った。マイスター養成塾の修了者を選考(教頭等)の対象者とするなど、市独自の受検資格を設けるなどして女性受検者の増加を図る。

・採用検査においては、教職・一般教養に関する問題を外部委託するなど、引き続き、公正性、公平性、透明性の一層の確保に向けた取組を進める。

H20.4.1の登用率 H21.4.1の登用率 H22.4.1の登用率

3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応

施策1－(1)「学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進」

小学校から将来を見据え、社会の中で生きる自分をイメージすることは大切なことである。教育ビジョンの中に位置付けることで、子どもたちの世界が広がっていくのはとてもよい。

小学校や中学校で、実際に働いている現場の方から直接話を聞く機会はあるのか。小学校の教員が、キャリア教育コーディネーターの養成講座を受けてがんばっているという印象を受けた。

⇒ 小学校でも中学校でも、ハローワークや労働局と連携し、医師や農家の人など、いろいろな職業の方から話を聞く機会を設けている。例えば、小学校では、3・4年生が総合の学習で地域のまち探検に取り組んでいる。積極的にまちの中に出かけて行って、商店を訪ねるなどの学習を進めているし、ゲストティーチャーという形でいろいろな職業の方から授業に入ってもらって職業関係の話を聞く機会が多くある。

将来の夢で終わらせるのではなく、夢の実現に向けて次の一步を考えさせることを大事にする必要がある。

施策2－(4)「いじめ・不登校への対応」

「30日以上欠席した児童生徒数」や「いじめ発生人数」の項目と、それに対する数字があがっているが、実際にいじめは起きているのか。早期に発見して対策を打つことや、いじめに関する調査を実施するときに加害者への意識付けを行うことなどが大事になる。

「ライフスキル教育の実施によるいじめを生まない学校づくりの推進」とあるが、ライフスキル講座を実施する予定はあるか。このような講座を積極的に実施してほしい。

⇒ 心理的・物理的に攻撃を受け、本人が苦痛と感ずる場合は、いじめとしてカウントしている。本人の心の痛みを丁寧に見取り、早期に対応している結果、実際に子どもたちからの訴えが数値で報告されている。

ライフスキルについては、教員を対象とした研修を実施してきている。今年度もいくつかの学校（特に中学校区）で、いじめや人間関係について考える取組を進めている。

施策5－(1)「校種間連携の推進」

幼小の連携や小中の連携が進んでいるようであるが、日常的に教職員の意識を高める手だてを打つ必要がある。学習指導要領にも小中9年間を見通した一貫教育を行うことが示されている。

小学校で育てた子どもたちが中学校で何を学ぶのか、中学校では小学校でどう学んできたか、それらをどう受けて中学校の教育に取り組んでいくのかということが日常的に検討されなければならない。

⇒ 中学校の英語と小学校の外国語活動において連続したカリキュラムを考えたり、総合的な学習においても発展的なカリキュラムを考えたりするなど、今後も中学校区を単位として、小中連携した取組を進める。

施策7－(1)「家庭教育充実の支援」

生涯学習センター主催の家庭教育研修会はよい研修会だったが、PTA研修会に先生方や保護者からもっと積極的に参加してほしい。就学時健診や新入生学校説明会など、多くの保護者が集まる場を活用し、家庭教育の啓発を図る必要がある。

⇒ PTAは大事な社会教育団体で、学校とも密接な関係があるので、多くの保護者が集まる場を活用し、働きかけをしていきたい。

施策10－(1)「地域と共に歩む学校づくりの推進」

中学校では、地域の方々から教育活動を支援してもらっている一方で、地域の課題解決や活性化に向けて何ができるかを考え、実践していくことが大切である。地域の力を学校がもらうだけでなく、学校が地域に何ができるかの双方向でやることで、地域と共に歩む学校が実現できる。

コーディネーターのおかげで地域と密着した教育活動が展開されているが、コーディネーターに頼るあまりに教員の顔が見えなくなったり、教員の努力が足りなくなったりすると大変なことになる。また、コーディネーターがどこまで引き受けてよいのか、学校はどこまでコーディネーターにお願いしてよいかという線引きが難しい。

⇒ 地域と共に歩む学校づくりを推進するためには、コーディネーターの役割や学校支援ボランティアの導入などについて、学校教職員をはじめ、保護者・地域住民の理解を得るよう努めなければならない。

H22年度からは、総合教育センターの教員研修に「学・社・民の融合」の講座を設け、教職員の理解を図るための研修を進めている。また、学校の教職員とコーディネーターの役割分担を明確にするためにも、打合せの時間を十分にとることが不可欠であり、コミュニケーションをとりながら教育活動を充実したものにしていけることが大切である。

施策13－(1)「教育関係職員の研修プログラムの充実」

マイスター養成塾の修了者47名、認定者26名ということであるが、今後、マイスターが活躍できる場や、マイスターの力を活かす場について考えていかなければならない。

⇒ 各区や隣接する区ごとにグループをつくり、企画・運営も含めて公開授業を行う。さらに、個人で公開授業を行うことも奨励し、マイスターが活躍する機会を増やしていく。